

【大平佳男ゼミナール】 2025 年度 活動報告

対象地域	栃木県
テーマ	バスの運転手不足問題／エネルギーミックスの理解のための環境教育
キーワード	バス、運転手不足／エネルギーミックス、エネルギー教育

● 2025 年度の活動概要

2025年度の大平ゼミでは、ゼミ生の興味・関心のあることをもとに2つのテーマに整理し、2グループに分かれて研究活動を進めてまいりました。

1 つ目のグループでは、宇都宮市の LRT による街づくりを調べていく中で、公共交通機関の重要性を理解し、バスの運転手不足に注目して研究を進めていくことになりました。

2 つ目のグループでは、エネルギー教育の実践と、エネルギー教育の教材を活用することによる教員の負担軽減という視点から、エネルギー教育の教育プログラムを作成しようということになりました。

● 栃木県内におけるバス業界の課題と解決策

バス業界について調査を進めていく中で、高齢化に伴う人手不足という課題があり、その課題解決に向けて、若年層の就職を増やすための福利厚生の見直しや女性運転手の確保という視点に着目しました。そこで、北関東を中心にバス会社の福利厚生を調査したり、女性運転手が少ない理由を調査したりしました。

また、そもそもの路線バスの減便などが進む中での代替手段として、デマンド交通に着目しました。栃木県内でもデマンド交通が行われている事例があり、他の交通機関との連携が行われていることを調査しました。

● エネルギーミックスの理解を深めるための環境教育の実践と効果

エネルギー教育として何を学んでもらいたいという教育目標を考え、その教育目標に合わせて教育プログラムを考えることとしました。そこで、多様な発電方法の特性を理解し、環境と安定供給を両立させる持続可能なエネルギーの選択について、主体的に考えられる力を育てるという教育目標を考え、エネルギーミックスが学べる教育プログラムを作成していくことになりました。

教育プログラムでは、最初にワークシートで発電の理解度を確認した後、様々な発電とその特性に関するカードゲームとクイズを行いました。ゲーム後には興味を持った発電や自分が思うバランスのよいエネルギーミックスは何かなどをワークシートに記入してもらい、教育プログラムの効果について分析しました。

● ゼミ活動の様子

写真1、2は、実際にエネルギーミックスの教育プログラムを実践している様子です。ワークシートの記入やカードゲーム、クイズで合計 30 分ほどの時間でできる教育プログラムになっています。また、写真3はゼミ合同発表会に向けた準備、写真4はゼミ合同発表会当日の様子の写真になります。



写真1 カードゲームを行っている様子



写真2 ワークシートに記入している様子



写真3 ゼミ合同発表会に向けた準備



写真4 ゼミ合同発表会の発表の様子

以上